

2020年度 楽患チャイルド評価

2020年度の取り組み

- コロナ禍においても要請に基づく縮小の上、閉園することなく継続していました
- 当園理学療法士から送迎時のシーティングやその他理学的指導を職員および保護者へ展開しています
- 当園言語聴覚士から摂食嚥下に関する指導を保育士、看護師に行い、全体として摂食嚥下を意識して取り組んでいます
- 当園作業療法士より、微力な指の動きでも iPad やおもちゃを操作する訓練に取り組んでいます

保護者等による評価 ※結果データは最終ページ参照

- 活動スペース、内容については肯定評価多数
- 他園との交流の機会はコロナ禍でもありゼロ評価
- 子どもの状況について、保護者との連携が取れているとの評価多数
- 保護者同士の連携は、いいとの評価
- 緊急時、災害時の対応については肯定評価多数
- 個人情報に十分注意しているとの評価全数
- 子どもは通所を楽しみにしているとの評価全数
- 事業所の支援に満足しているとの評価全数

保護者の声

「医療ケア児を見るだけあり、大人の人数も充分でよくみてくださる。その日の事も細かく、連絡帳に書いて下さり安心出来る。体調が不安定になっても、適切な対応をしてくれる。」

「PT や ST など専門の方がいらっしゃるのが大変ありがたい」

「定期的に支援計画を作成することで、我々の望むことを実践して頂いております」

「四季のイベントなど家でできないこともちゃんとやってくれる」

「毎回、画像を送って下さるので、園での様子がよく分かります」

「とても細かく共有していただける」

「連絡帳及び口頭で共有させて頂いています」

「朝、ピンポンとインターホンが鳴ると、遊びをやめてドアの前まで嬉しそうにやってきました」

「とても満足している」

「ここ数ヶ月で言葉の数がぐんと増えました。ありがとうございます。」

職員アンケート結果

- 個人情報の保護、利用者の人格尊重、個別ケアについて留意しているとの回答多数
- 利用者へのサービスに関する悩みをもつ職員は半数以下
- 安全管理、体調管理は全員意識しているとの回答

事業所全体の振り返り

通常の運営は主にリハの充実が評価できます。次に課題としてですが、コロナ禍および緊急事態宣言で感染症対策の見直し、衛生物品の確保、職員の健康管理および勤務確保など、走りながらの対応となり、十分であったか確かなことは言えない状況でした。経験を活かし精度をあげていく予定です。

2021/3/17

特定非営利活動法人楽患ねっと

理事長 岩本貴

保護者等による評価

	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 整備・ 体制	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか	3		
	職員の配置数や専門性は適切ですか	3		
援助の 適切な 提供	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、サービス計画が作成されていますか	3		
	活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか	3		
保護者 への 説明等	他の保育園との交流など、障害のない子どもと活動する機会がありますか		1	2
	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	2	1	
	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	3		
	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか		1	2
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか	3		
	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信していますか	2	1	
	個人情報に十分注意していますか	3		
非常 時等 の 対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか	2	1	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	2	1	
満足 度	子どもは通所を楽しみにしていますか	3		
	事業所の支援に満足していますか	3		